

一喜一憂

No. 1

「一喜一憂」

状況の変化に喜んだり、心配したりすること

藤屋 侃士

(下松市幸ヶ丘)

人生を豊かにする

魔法の言葉

2021年、今年めの原稿は、はじめ尽もつがなく過ぎせまくしのめでたいものですように、世界は人類ありたいと願っている。

の栄知と祈りで平和を

去年は健康に自信が

式と言え、1月15日

になったのでピンとこ

昔、祖母は新年に子

実感できますようにと

持てない時期もあり、

だった。大人になったこ

いとこもあるが、大

でも、孫を一同に集め

祈りたい。今年のはじ

病院通いが多かったの

とを自覚し、自らの努

人として社会的に認め

るのが現状である。

で、今年には医者が不用

力で生き抜こうと決意

したことを思い出す。

2000年から、成人

式は1月の第2月曜日

なるよう留意して過

ごしたい。

私の若い頃は、成人

式は1月の第2月曜日

になったのでピンとこ

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

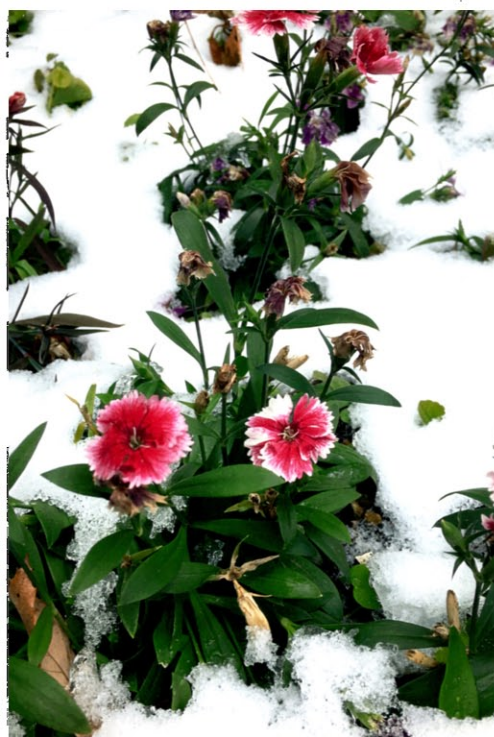
な

な

な

な

な



雪の中で咲くナデシコ

《庭を彩る花など》



香りのよいスイセン



孫が作った雪だるま

2000年から、成人式は1月の第2月曜日になったのでピンとこないところもあるが、大抵も、孫を一同に集めて、「新年は、年神様(とされることは、誰にとっても特別なものがある。様が運んで来て下さった)と言っていた。そ

祝う「成人式」は各地で催され、晴れ着に身を包んだ男女が街を彩ったものだ。しかし、今年にはコロナ禍で、成人式がなかつたり、規模が縮小されたりしている。家族も、隣近所も、成人式を調べてみる

と、10歳の「2分の1成人式」、30歳の「三十路成人式」、40歳の「ダブル成人式」などお互いの成長と健康を喜び、思い出話を語り合ったり、写真を取り出してみたり、一つのふし目としてのイベントとしておもしろいものになっている。

いづれにしても、今を健康で豊かに生きていられることに感謝しよう」ではなく、「ありがとう」で終わりたいと願